

教材・教具 説明書

<p>教材・教具名</p>	<p>的当て</p>
<p>対象児童・生徒</p>	<p>いきいき学級</p>
<p>教材・教具写真 (使用している場面など)</p>	<p>(使い方)</p> 
<p>教材・教具の 使い方</p>	<p>(おまけ)</p>  <p>ボールを転がしても使えるように底辺は囲いをしていない。</p>
<p>工夫した点や 教材・教具の効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ ゴムを使うことで、「握る」「ひっぱる」動きだけでボールを投げることができるようにした。 ○ 的をはっきりした色で分けて視覚的に分かりやすいようにした。 ○ 教師が一人でも使用できるように、背面にベルトを着けてベッド柵に設置できるようにした。
<p>今後の 展望・課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 呼吸器や気管カニューレ等を使用している場合は、ボールやゴムが当たらないように十分に注意が必要である。